

二宮ひとしの夢



研修型宿泊観光地

企業研修プログラム、農業、魚釣り体験、海洋スポーツ、サイクリング等の体験学習プログラムの全市的商品化。瀬戸内海を知るための拠点化。心身の療養地。

産業技術集積地

造船、食品産業を支える加工技術の集積地であることを世界的にアピール。IT系企業の誘致、国際見本市への出展支援。

快適居住地

バス、タクシーを使った公共交通の小回り化。救急医療の充実。行政サービスの順番待ち解消促進(高齢者福祉施設、待機児童等)。障害者支援。行政窓口の接待力向上。

子育て最適地

民間学習塾の活用支援。放課後対策の充実。地域文化の学習充実。部活動を支える民間ボランティアの支援。子どもの貧困対策充実。

議会外での活動

県道54号線三成工区開通

県道54号線の三成下～国道184号までの三成工区完成を地域の方々といっしょに要望し、地域でお祝いした開通式の準備に協力。



2017年 尾道みなと祭実行委員長

みなと祭の創始に関わり尾道港を再生させた平山角左衛門を顕彰。また今後の課題として国際化を提唱。



西日本豪雨災害報告

豪雨翌日から災害現場を見て回り、20カ所以上の現場を写真を添えて市に報告。また被災者に市が提供の罹災証明を支援、被災地にボランティアとして入り、床下の泥を掻き出す作業に協力。

被災地の坂町視察と提言

西日本豪雨で被災した広島県坂町などを回った避難所・避難生活学会の方々に同行。体験を基に尾道市の避難所の運営力や環境改善を提言。

ゴミ拾い・清掃活動

184号線と尾道バイパス交差点付近やおのみち海の駅で定期的にゴミ拾いや清掃をするボランティア活動に参加。



尾道の魅力を英語で発信

過去2回の尾道みなと祭において尾道東高校の生徒さんの協力を得て実施した、外国人観光客をもてなす英語看板の作成事業や林美子の国際交流イベントの企画に参加。



議会報告

2018年3月議会

本庁舎整備の工事費に3億8千万円を追加する補正予算を可決しました。合併特例債を40億円規模の基金とする議案や一般会計637億3千万円など新年度予算案を審議、可決。全小中学校教室への空調設備導入、ふくしまに仮称・中央認定こども園を建設する予算なども含まれます。

2018年6月議会

補正予算、小中学校への空調設備導入の工事委託契約など27議案を可決。空調は2019年の夏ごろまでに完了する見込み。今議会の一般質問から全議員が質問できる制度になり、今回20人が登壇。一般質問で二宮仁は尾道市議会初となる手話で自己紹介を行い、藤井川の環境保全、中小企業支援、企業立地促進、再延期された合併特例債の活用、徴税業務の適性などを質問しました。

2018年8月臨時議会

西日本豪雨による住宅内土砂・がれきを市が直接処理する議案、復旧事業等を審査。住宅内の撤去費用を4億2,530万円と見込み、予備費2億円を含む4億5,000万円を予算化しました。

2018年9月議会

補正予算を含む29議案を審議。一般会計補正予算は補正額9億8,374万9千円で災害復旧費8億652万円及び災害復旧業務に係わる時間外手当1,480万円や一般公共施設、旧保育所、小学校のブロック塀撤去費などが含まれています。

◇西日本豪雨災害関連◇

西日本豪雨災害で災害カ所は2672カ所を数え、3名の尾道市民が亡くなりました。その後の長期の断水もあり、歴史的な大災害となりました。災害復旧事業は公共土木施設関連で道路111路線(155カ所)、河川33河川(121カ所)、工事費約19億円(276カ所)があり、農林水産施設関連で農道49カ所、農地88カ所、水路12カ所、ため池9カ所、頭首工14カ所、林道6カ所、工事費約17億円、期間約3年を見込んでいます。

2018年10月臨時議会

舟券売り場計画の是非を問う議案を採決。結果、私を含む反対10人、賛成13人、棄権4人となり、残念ながら可決。売り場計画は国土交通省の求める認可要件3つ(地元町内の同意、市長の同意、議会が反対していない)のうち2つ成立。最後の認可要件の市長も11月8日に同意。

2018年10月 決算特別委員会

平成29年度決算のうち一般会計、特別会計(健康保険、千光寺山索道、公共下水道、農業集落排水など13事業会計)、企業会計(水道、病院の2事業)を審議。二宮仁は退職手当の財源、企業誘致策、観光多言語化、新築久保中体育館の活用、病院経営など5項目を質問しました。

2018年12月議会

一般会計の補正予算約11億2千万円などを審議。一般質問で二宮仁は子育て支援、ごみ処理について質疑を行い、子育て支援では行政と子育て家庭の接点で見逃しがないように重視することを指摘し、ごみ処理では観光エリアや高齢者に配慮した収集方法を要望しました。

以上